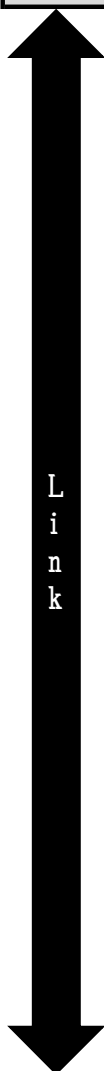


◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの)	<h2 style="margin: 0;">かけがえのない郷土</h2>
------------------------	---------------------------------------

内容項目	見出し	教材名
C - 16	郷土愛	「稲むらの火」余話
価値項目		
1・2・3・4 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める。		
本時のねらい		
郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員であるという帰属意識をもって郷土に貢献しようとする態度を育てる。		
主題発問に向かうための導入・場面発問		
導 入	発問	上峰のいいところは？
	補助発問	子ども会議と重なるかもしれないけれど・・・
場 面 ①	発問	儀兵衛はどんな思いで稲むらに火をつけたのだろう？
	補助発問	
場 面 ②	発問	儀兵衛はどんな思いで堤防を作ったのだろう？
	補助発問	なぜ町の人を雇ったのだろう？
場 面 ③	発問	
	補助発問	



◆ 主 題 発 問	地域の人たちは、どんな思いで今も広村堤防に土を盛り続けているのだろうか？
◆ 発 展 発 問	あなたが上峰の暮らしで大切にしたいものは？

◆ 学 び 合 い 活 動	場面発問①	場面発問②	主題発問	発展発問
	個 ⇨ ( ペア ・ グループ ・ フリー ) ⇨ 個			

留意点等	儀兵衛が村人の命とともに、生活も守ったことで、村を存続させることができたことを伝えたい。また、土盛りという行為によって、防災だけでなく、地域に住む者同士のふれあいの機会を大切にすることで、郷土に対する認識が深まり、郷土を愛する心が芽生えることにふれたい。最後に、自分の生活を振り返ることで、自分の郷土に対する思いについて考えさせたい。
------	---

授業後の振り返り

導入の質問で「上峰のいいところ」をたずねたときに、「ふるさと納税」「ニモカ」などを挙げたクラスと、「人のあたたかさ」を挙げたクラスがあった。中心発問で、「人がいてこそそのふるさと」であり、その気持ちを受け継いでいくことが郷土を守ることにつながるということを考えさせたいと思っていたが、深まりが不十分だった時に発展発問で「自然」という意見が出ていた。